

絵本の読み聞かせをしよう

3年

子どもの発達と保育
「絵本の読み聞かせ」
資料の活用

ねらい

○読み聞かせの大切さを学ぶ。

○読み聞かせに適した絵本の選び方、読み聞かせのポイントを学ぶ。

学 習 展 開

- ① 担当教員がこの単元のねらいを説明。
- ② 講師（公共図書館職員）から絵本の読み聞かせ。以後⑧まで講師が担当。
- ③ 公共図書館・ブックスタート事業の紹介。
- ④ 絵本や読み聞かせの役割（温もりが伝わることで赤ちゃんの心、情緒の発達をうながす。大好きな人の声で赤ちゃんは安心感を感じるなど。）を学ぶ。
- ⑤ 事前に用意した12種類の本を生徒に配布。
- ⑥ 絵本を選ぶ・渡すときのポイントを押さえる。
- ⑦ 読み聞かせのポイントを押さえる。
- ⑧ 生徒はペアになりお互いに読み聞かせを行う。
- ⑨ 担当教員の読み聞かせ。
- ⑩ 担当教員からこの単元のまとめ。



智頭町立智頭図書館職員（左）

による授業

（家庭科教諭と司書教諭と共に）

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、授業担当者に講師の紹介を行う。
- 司書教諭は、授業担当者と講師と共に授業の内容について検討を行う。（以上前年度実施）
- 司書は講師から依頼を受け、資料を準備する。
- 司書教諭と司書は授業に参加し、担当教員・講師とともにT3、T4として生徒の支援を行う。

★指導のポイント

- ◆ 読み聞かせは楽しくコミュニケーションをとるための手段であることを伝える。
- ◆ 生徒に12種類ずつ同じ絵本を配布する。
- ◆ 奥付を見て絵本の出版年を確認する。
- ◆ 事後にアンケートを取り、次年度につなげる。

資料

「いないいないばあ」、「くだもの」、「じゃあじゃあびりびり」、「ちいさなうさこちゃん」、「もこもここ」、「ぐりとぐら」、「おおきなかぶ」、「もりのなか」、「こんとあき」、「ももたろう」、「三びきのやぎのがらがらどん」、「ととけっこうよがあげた」